

(様式4-2：平成28年度 モビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）にかかわる学校支援制度  
実施結果報告書)

### 実施結果報告書

1. 学習名称：「わたしたちの小平市」～地域の交通について考えよう～					
2. テーマ：交通の役割について考えよう					
3. 実施教科：社会科、総合的な学習の時間					
4. 関連単元： エコなくらし ～乗物からエコを考えよう～					
5. 実施単元数： 社会科：6時間、相互的な学習の時間：7時間 計13時間					
6. 学年	3学年	7. クラス数	2	8. 児童数	59人
<p>9. 実施内容</p> <p>指導のねらい： 社会科の学習指導要領の第3学年及び第4学年の目標と内容より… 目標（1）地域の産業や消費生活のようす、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。 内容（1）－（ア）身近な地域や市（区、町、村）の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と役割、交通の様子、古くから残る建造物など</p> <p>上記に基づき、小平市内の交通の様子を、学校近隣の西武バスと連携し、見学や働く方のインタビューなどを通し、交通には自分たちの市と他の近隣市をつないでいる大切な役割があることを知り、またバスの工夫（大きさ、つり革や停車ボタン、座席、支払いの工夫など）やバス会社の工夫（時刻表、環境対策、安全対策など）を学んだことで、働く人の思いや願いについても考えることができた。</p>					



10. 学習のながれ：

学習のねらい（時）	○主な学習活動
バス（地域の公共交通）の役割を考える。（第1時）	○小平市内を走るバスの写真や路線図を見て、バスに乗った経験を話し合い、バスの役割について考える。
バスの営業所を見学し、地域の交通の拠点になっていることを理解する。（第2時）	○西武バス小平営業所の見学をし、職員の方に話を聞いて、ここから各地域へバスが出ていることを知る。また回送などでバスが戻るなど、地域の拠点となっていることを知る。営業所内で気になるものを見つけ、さらに詳しく調べたい、知りたいことを探す。
営業所見学でわかったこと、さらに知りたいことを共有し合う。（第3時）	○営業所見学でわかったことや、さらに調べたいこと不思議に思ったことなどを営業所の拡大図に付箋紙で意見をはり、全員で共有し合う。
バスの営業所の方の話を聞き、安全に運行する工夫や、環境対策について理解する。（第4時）	○営業所に行き、乗務員さんなど実際に働く人の話を聞く。バスの中の工夫や、清掃などについても見学し、乗る人の安全や快適につながっていることを理解する。
西武バスの見学学習を通して学んだことを壁新聞にまとめる。（第5時）	○これまで学習したことを、児童それぞれが関心の高い視点をしぼって、壁新聞を作る。

さらに発展学習として総合的な学習の時間に位置づけて「エコなくらし」～乗り物からエコを考えよう～の学習を次のように行った。

- ①様々な乗り物のCO<sub>2</sub>の排出量について関心をもつ。
- ②自分や家族が利用する乗り物を出し合い、それぞれの「よさや不便なところ」を考える。
- ③バスと鉄道の環境への取組を学ぶ。
- ④エコモ環境ブックで学習のまとめをし、さらに自分の調べたいことを見つける。
- ⑤⑥自分の課題について探求し、まとめる。
  - ・バス車両の工夫 ・バス会社の環境への取組 ・バスや電車を利用する良さ
  - ・バスや電車をいかしたエコなくらし ・乗り物を変えて環境によい生活を！など
- ⑦学習したことを発表し合う。

学校公開日にあわせて児童一人一人が自分が興味・関心を持ったことについて発表した。その際エコモ財団交通環境対策部交通環境企画課・担当課長 岡本 英晃氏にも来校いただき授業を参観後、感想を述べていただくことができた。

この学習では先に社会科で行った交通、そこで働く人々の思いや工夫についての学習を活用し、自分の家族の利用する乗り物から環境についての課題を見つけ、考えを深めエコを意識した生活を考えられるようになった。



※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。